



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

雨の時期は軟腐病やナメクジが増加するので注意!

【軟腐病(*Pectobacterium carotovorum*)】



高温期に結球する作型で被害が大きく、収穫後の腐敗の原因にもなる。結球後に発生が多く、**頭部もしくは地際部が褐変・腐敗し、独特の悪臭**を放つ。外観は健全に見えても、内部の葉や茎の髓が侵されていることもある。**急速に株全体に広がってしまい**、結球前の場合は欠株となる。土壌水分が多く、高温度の条件で発生しやすく、**台風や管理作業、害虫の食害などによって葉に傷がつくと、一斉に発病**することもある。



【ナメクジ(slug)】



新芽や若葉など柔らかい葉を舂めるように食害する。食害痕は**葉に穴が開き**、ヨトウムシと似ているが、ナメクジの場合、**糞や筋状の粘液**が付着している。傷口から病害感染を助長する。

発生時期	春・秋(年間1~2世代) 4~6月に産卵、40日ほどで孵化し、秋までに成体になる ※種類によって異なる
生育適温	15~30℃ それ以上の高温は徐々に死亡する 低温には強く、0~10℃以下ですぐには死亡しない
被害作物	キャベツ・ハクサイ・ブロッコリー・トマト・ピーマン・ナス・セルリーなど カンキツの果実の傷は大きくなると目立つ

! 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません! ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください! **!**

病害対策におすすめ薬剤

IRAC FRAC	対象病害	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数
31	黒班細菌病・軟腐病	スターナ水和剤	○	—	1000倍	7日前	3回
U18	株腐病・黒腐病・軟腐病	バリダシン液剤5	○	—	800倍	7日前	5回
M01	軟腐病・斑点細菌病・べと病(※1) 黒腐病・黒斑細菌葉(※2)	兼商クプロシールド	○	—	1000~2000倍 (軟腐病:1000~1500倍)	発病前~ 発病初期	—
11,7	株腐病・菌核病・黒斑病・べと病	シグナムWDG	○	○	1500倍 (べと病:1500~2000倍)	7日前	2回

※1 野菜類登録 ※2 結球あぶらな科葉菜類登録

害虫対策におすすめ薬剤

IRAC FRAC	対象害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
28	ウリバ類・コガ・ハイマダラノメカ・ オタバコガ・ヨトウムシ・ハモンヨトウ・アムシ	プレバソフフロアブル5	2000倍	前日	3回
30	ウリバ類・コガ・アザミウマ類・オタバコガ・ヨトウムシ・ ハイマダラノメカ・ハモンヨトウ・シロイモジヨトウ・アムシ	グレースシア乳剤※	2000~3000倍	7日前	2回
22A	ウリバ類・コガ・ハイマダラノメカ・ヨトウムシ・ ハモンヨトウ・シロイモジヨトウ・アムシ	トルネードエースDF	1000~2000倍	7日間	2回
14	アブラムシ類・カツムリ類・コガ・アザミウマ類・ ナメクジ類・ハイマダラノメカ・アムシ	リーフガード顆粒水和剤	1500倍	7日前	3回

※ 結球あぶらな科葉菜類登録

ジオゼット[®] 水和剤

耐性菌にも有効!



- ◆ 天敵・訪花昆虫への影響が非常に少なく、IPM防除に最適!
- ◆ 天然由来成分で、化学合成農薬ではない安心設計!

キャベツ登録内容(株腐病)
1000倍 収穫14日前まで 3回以内

-Catch[®] エヌキャッチ

野菜類使用例 50aあたり6.25g(1袋)
葉面散布/1~2回/生育初期

- 窒素固定細菌Gd (グルコンアセトバクターシアゾロフィカス)
- 葉から植物体内に入り、空中の窒素を供給!
- 窒素不足時に効果発揮のため、窒素過多の心配なし!

酷暑対策に

収穫物の
品質向上に

作物の
生産性向上に

